

令和7年度 事業計画

一般社団法人 北海道子ども会育成連合会

令和7年度事業基本方針

本会は、設立時より、“遊びは子どもの栄養素”をモットーに地域での活動を実践する中で、次代を担う青少年の育成を目指して活動を推進し、地域育成者・指導者の連絡提携並びに情報交換に資する様々な取り組みを行ってまいりました。このような中、皆様のご協力により令和6年11月には留萌地区で育成研を開催し体験活動の重要性をあらためて確認し盛会のうちに終了させることが出来ました。

私達の関わっている子どもたちの現状はとても厳しいものがあります。体力低下・学力低迷など子ども自身の問題と、いじめや不登校、親を含めた大人からの虐待、自殺、異常者による事件、交通事故、自然災害と様々な悲しい現状は、子どもの周辺環境の問題ととらえることができます。

さらに、少子化と貧困、都市への一極集中による地域の脆弱化、町内会活動の低迷など人と人の結びつきの希薄な状況という社会的問題ととらえられる厳しい状況があります。

令和6年度に向けて少しずつ子ども会活動は活発になってきましたが、地域によりまちまちで格差が生まれています。コロナによる影響はとても大きく、子ども会活動の自粛により、育成者は活動の流れを忘れ、子どもや保護者は子ども会が楽しかった経験の継承がなされないため、子ども会がどんな活動をしていたかもわからない状況が起きています。育成者・指導者は子ども会の意義を改めて確認し子どもと共に、子どもの居場所を作り、「地域の子どもは 地域でしっかり育ていく」体制の確立を図るため、地域住民とともに皆様の英知を結集し子ども会活動を進めてまいりましょう。

また、安全思想^{*}の普及、安全教育の徹底を行うことにより事故の無い活動を推進していくとともに、あらゆる災害に備えて子どもとともに防災についても考えていかなければなりません。

これらの活動に取り組み、改めて子ども会の使命と役割を再確認し子どもが地域で安心して暮らし、一人ひとりがたくましく健やかに成長できる魅力ある活動が展開できるように、組織の充実や活動の活性化に取り組んでいきます。（*安全思想：安全について心に思い浮かべる、考える事）

本会ではこれらのことをふまえ、令和7年度は次の方針で活動を進めます。

- 1 子どもが明るく、たくましく育つための良い環境作りを推進します。
- 2 社会状況に対応した魅力ある子ども会活動のあり方を研究し、実践します。
- 3 子ども会のリーダー、育成者、指導者の養成・確保に努め、子ども会活動を積極的に実践する指導者・育成者を増やしていきます。
- 4 安全教育の徹底を図り事故の無い活動を進めます。
- 5 関係機関・団体との連携を密に行い諸問題の早期解決を図ります。
- 6 社会情勢に対応する組織（道子連）の在り方を研究します。

令和7年度事業計画

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(事業の趣旨)

道内市町村子ども会育成組織の連合体として、子ども会活動を育成するために必要な事業を行い、もって子どもの社会生活に必要な徳性のかん養及び子どもの健全育成に寄与することを目的とする。

(事業の構成)

本事業は、下記により構成される。

1 育成・研修事業

- (1) 北海道地域子ども会育成研究協議会開催事業
- (2) 市町村子ども会事務担当者会議開催事業
- (3) 北海道子連推進研究会事業
- (4) 北海道地域子ども会リーダー研修会開催事業
- (5) 地域におけるユースリーダー養成・研修会開催事業
- (6) 研修派遣事業

2 体験交流等事業

- (1) 北海道子どもかるた大会事業
- (2) 親子ニュースポーツ体験・交流事業
- (3) 親子で取り組む学習活動事業

3 広報事業

4 顕彰事業

5 その他の事業

- (1) 安全対策及び北海道子ども会見舞金事業
- (2) 関係機関、団体との連携
- (3) レクリエーション講習
- (4) 単位子ども会再生プロジェクト～美田チャレンジ～
- (5) 子ども会物語の発信
- (6) SUNNY との共催事業

6 会議の開催

(事業の内容)

すべての事業の開催については現地集合開催を基本とするが、ネット開催、文書開催など柔軟に対応する。

1 育成・研修事業

(1) 北海道地域子ども会育成研究協議会開催事業

各地の子ども会をはじめ、青少年育成会の健全育成に関わる指導者や育成者を一堂に集め、地域における青少年の健やかな育成を図るための研修を行い、現在、抱えている諸問題の解決策や活動の進め方を研究協議する。

期 日： 令和7年11月1日（土）～2日（日） 開催予定

場 所： 帯広市 とかちプラザ

帯広市西4条南13丁目 電話 0155-22-7890

参加者： 100名

(2) 市町村子ども会事務担当者会議開催事業

道内各市町村で子ども会の事務局を担当している方が一堂に会して子ども会活動の進め方や行政との関係などをお互いに検討し、今後の道子連事業のあり方を含め円滑な事業推進の方策を協議するとともにお互いの活動の情報交換を行う。

期 日： 令和7年 4月11日（金） 開催予定

場 所： 札幌市 道立道民活動センター かでる 2・7

参加者： 40名 ZOOM同時利用

(3) 北海道子ども会推進研究会事業

道内各市町村の子連の活動や、その構成単位である各町内会などに由来する子ども会活動を今後どのように推進していくかを研究し、理事会への提言、全道の育成研究協議会、各地区での協議会や活動に、助言、指導を行う。（交通費全子連申請）

期 日： 令和7年4月1日～令和8年3月31日

場 所： 札幌市 道立道民活動センター かでる 2・7

参加者は、道子連事務局で委嘱済み（令和8年3月末まで）

(4) 北海道地域子ども会リーダー研修会開催事業

子ども会活動は「子どもの手による子ども会」として子どもたちが自主的に活動できるようになることを目指している。そのためには、グループをまとめるリーダーが必要となり「1単位子ども会に1人のジュニアリーダー」を目標としている。

そこで、全道より募集してリーダーとして必要な知識や実技を学ぶとともに、各地のリーダーたちの情報交流の場となり、お互いの親睦を深めるための研修会を開催する。

同時に北海道子どもキャンプを開催し子どもたちに体験と交流の機会を提供する、と共にリーダーの実践の場とする。

期 日： 令和7年8月8日（金）～11日（月祝）

場 所： 道立青少年体験活動支援施設 ネイパル砂川

参加者： リーダー研修 20名
(対象 中学1年生～高校3年生)
： 子どもキャンプ 120名 1市町村最大10名予定
(対象 小学1年生～小学6年生)

(5) 地域におけるユースリーダー養成・研修会開催事業(ゆめ基金事業)

育成者、指導者、役員不足により子どもたちの活動機会が減少している状況に対し、過去に子ども会活動を経験してきた者や、地域づくり、社会教育に興味・関心を持つ大学生年齢相当以上の者が集まり、ディスカッションや講話を通して個人の資質の向上を図り、地域と連携して活動するための次代の育成者・指導者の養成を行う。

期 日： 令和7年5月31日(土)～6月1日(日) 開催予定

場 所： 札幌市青少年山の家

参加者： 20名 (対象 大学生年齢相当以上～)

(6) 研修派遣事業

全国的に新しい知識や技術の情報を得て、道内の活動に活かしていくために全子連等の開催する研修会等に関係者を派遣して対応する。

ア) 全国子ども会育成中央会議・研究大会

期 日： 令和7年11月15日(土)～16日(日) 開催予定

場 所： 熊本県 熊本市

派 遣： 全国表彰受賞者2名及び役職員1～3名程度

イ) 全国ジュニアリーダー研究協議会

期 日： 令和7年10月11日(土)～13日(月祝) 開催予定

場 所： 川崎市 川崎市青少年の家

216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎105-1

電話 044-888-3588

派 遣： 各市町村より推薦された高校生相当のジュニアリーダー3名
参加費、旅費、交通費などは、全子連より今後提示予定

ウ) 北海道・東北地区子ども会推進研究会

期 日： 年間3回程度 時期未定

場 所： 宮城県仙台市 (未定)

派 遣： 北海道子ども会推進研究会メンバーから

エ) 北海道・東北地区ユースリーダー研究協議会事業

期 日： 令和7年度内 時期未定

場 所： 未定

派遣： 北海道で活動しているユースリーダー 若干名

2 体験交流等事業

(1) 北海道子どもかるた大会事業

北海道遺産に認定された北海道の伝統文化である「下の句かるた」の保存と普及推進を図りながら、地域におけるお年寄りとのふれあいの場を作り、日頃かるたの練習等をとおして青少年の育成を図る。

日頃の練習の成果を競い合う場として各市町村、各地区において予選を行ってもらい、2月に北海道子どもかるた大会を開催する。

令和5、6年度はコロナの影響で参加チームも少なかったが、地域活動の意義をとらえ、従来の64チームが参加できるように働きかけるとともに、事業の継続に向けて会場の変更と交通費の削減を念頭に歌留多協会と協議を継続する。

期 日： 令和8年 2月15日（日） 開催予定

場 所： 定山溪温泉 定山溪ビューホテル（予定）

参加者： 小学生チーム16 中学生チーム16 合計32チーム予定

(2) 親子ニュースポーツ体験・交流事業

コロナ禍で子どもやその保護者も体力が低下している。けがの少ないニュースポーツを親子で体験することで、体を動かす楽しみを味わい、親子で共通した話題を提供できる事業を展開する。本事業を、各市町村の事業に取り入れてもらえるように、関係者との連携を図り、道内の子ども達の体力向上の一助を図る。

期 日： 令和7年 4月～12月 開催予定

場 所： 4地区で開催予定（檜山、空知、宗谷、オホーツク地区）

参加者： 1地区 50名 合計 200名予定

競技種目： ケージボール 指導：北海道ケージフットボール協会

： ゴールドッチ 指導：北海道フライングディスク協会

： モルック 指導：北海道大学モルックサークル

(3) 親子で取り組む学習活動事業

子どもの本離れ解消のための読書活動推進事業または、安心安全のための親子防災活動推進事業等を行う。

期 日： 令和7年4月～令和8年2月 開催予定

場 所： 4地区で開催予定（石狩、上川、胆振、日高地区）

参加者： 1地区 50名 合計 200名予定

3 広報事業

(1) 「8月8日 子ども会の日」の啓発

子ども会活動の意義と必要性を社会や地域住民に知ってもらおうと子ども会活動の象徴日として5月5日の端午の節句と3月3日のひな祭りを足した8月8日を全子連では「子ども会の日」と定めてそれぞれの地域で啓発活動を行う。

(2) 組織の充実強化

道内179市町村中、118市町村が本会に加入している。見舞金加入者は令和元年61,465人が令和6年見込みで33,300人と大幅に減少しました。子ども会活動の本質を理解していただく活動と、加盟市町村の加入率の向上に力を入れる。

(3) 各地区子ども会活動の運営強化

子ども会活動の普及推進を図り、子ども会活動の未組織地域や未加入団体へ地区子連とともに協力して地域における子ども会活動の充実強化を図る。

(4) 広報活動事業

道子連の事業や子ども会の活動事例、全国的な動きを各地の関係者に伝えるためホームページを作成して公開するとともに、情報提供を行う。また、新たにSNSの利用を検討し、導入を図る。

(5) 活動事例報告事業

各地区の事業や市町村子ども会の活動事例を報告いただき、ホームページに掲載して公開するとともに、情報提供を行う。

4 顕彰事業

長年にわたり、道内各地で子ども会をとおして、地域の青少年育成活動及び地域づくり活動に携わり大きな成果を上げてきた団体（子ども会、ジュニアリーダー組織、育成組織・指導者組織）や個人（育成者・指導者、青年リーダー）の栄誉をたたえるために、本会の表彰規定に則り顕彰する。

また、本会の表彰を受けた中から全子連及び関係期間・団体等の表彰へ推薦する。

5 その他の事業

(1) 安全対策及び北海道子ども会見舞金事業

ア) 安全教育事業

子ども会活動中における事故に備えて安全思想の普及、安全教育の徹底を図るため資料の作成や地域における研修会等へ指導者の派遣、斡旋を行い安全な活動の推進を図る。

イ) 子ども会見舞金事業

子ども会活動中における事故に備えて北海道子ども会見舞金事業を運営

し、事故が発生した時には規定により見舞金を支給するとともに、安全思想の普及、安全教育の徹底を図る。

ウ) 子ども会安全啓発初級指導者養成講習

子ども会活動中における事故に備え、活動中の事故を無くすことと安全教育の普及を図るため、全国子ども会連合会の養成基準により研修会を開催して、初級指導者の養成を行う。

期 日： 令和7年度内

場 所： 釧路地区（事務局 浜中町）

参加者： 40名予定

エ) 全子連共済事業、賠償責任保険事業の委託事業

全子連の各事業に対し委託契約することで、子ども会関係者の安全を担保する。

取り扱いとして、安全共済会、損害賠償責任保険、放課後 安心プランがある。

(2) 関係機関、団体との連携

青少年健全育成についての事業を行う関係機関、諸団体との連携を密に保ち、協力して活動を進める。また、現在の国際情勢を考え国際交流事業へも積極的に取り組んでいく。

(3) レクリエーション講習

子ども会活動で展開できるレクリエーションを、子ども会リーダーを対象に講習会の要請が来た際に、道子連青年リーダー組織の「SUNNY」を派遣し、講習会を開催する。

(4) 単位子ども会再生プロジェクト～美田チャレンジ～

単位子ども会の活動は、子どもによる子どものための子ども会が理想であるが実際には熱心な育成者のイベント事業や、地域の活動に組み込まれる傾向にある。

そこで、単位子ども会の子どもたちに1万円を渡し、子ども達自身が活動を考え実行していただく事業を支援する。（全道で10組 各1万円の予算）

(5) 子ども会物語の発信

子どもたちの成長、保護者や地域へ影響を与えたエピソードなどを集めて発信する。

* (4) (5) は北海道子ども会推進研究会の提言を受けて事業化するもの。

(6) SUNNYとの共催事業

道子連事務局の管理下にあるユースリーダー組織「SUNNY」が企画運営する事業で、道子連との共催により、今後北海道の地域や子ども会を支えていくユ

ーリーダーの資質向上と連携、さらに事業に参加した子ども達や、ジュニアリーダーの研修の機会を増やしスキルアップを目指した事業。予算的には「SUNNY」で独立して開催し、内容に関しては共催のため理事会の承認を受けて活動する。

ア) 北海道ステップアップ子どもキャンプ

イ) ジュニアリーダー研修会スキルアップセミナー

上記2つの企画は、日時、場所、参加対象、参加人数は未定

6 会議の開催

(1) 総会

第13回総会	期 日	令和7年 6月28日(土)
	場 所	北海道立道民活動センター

(2) 令和7年度正副会長会議

第1回正副会長会議	期 日	令和7年 6月 7日(土)
	場 所	北海道立道民活動センター

第2回正副会長会議	期 日	令和7年11月予定
	場 所	未定

第3回正副会長会議	期 日	令和8年 3月 7日(土) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

(3) 理事会

第40回理事会	期 日	令和7年 6月 7日(土)
	場 所	北海道立道民活動センター

第41回理事会	期 日	令和7年11月頃予定
	場 所	未定

第42回理事会	期 日	令和8年 3月 7日(土) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

上記3回の定例理事会の他に2回程度の臨時理事会を開催予定。

(4) 監査会

令和6年度監査会	期 日	令和7年 5月16日(金) 予定
	場 所	北海道立道民活動センター

(5) 子ども会見舞金審査会

	期 日	毎月 1回 予定
	場 所	北海道立道民活動センター